

伊勢湾貧酸素情報（第6報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

これまで、伊勢湾の底層に広く形成されていた 2 ppm以下の貧酸素水塊は、かなり縮小しており、今後、貧酸素状態は解消に向かうものと思われま

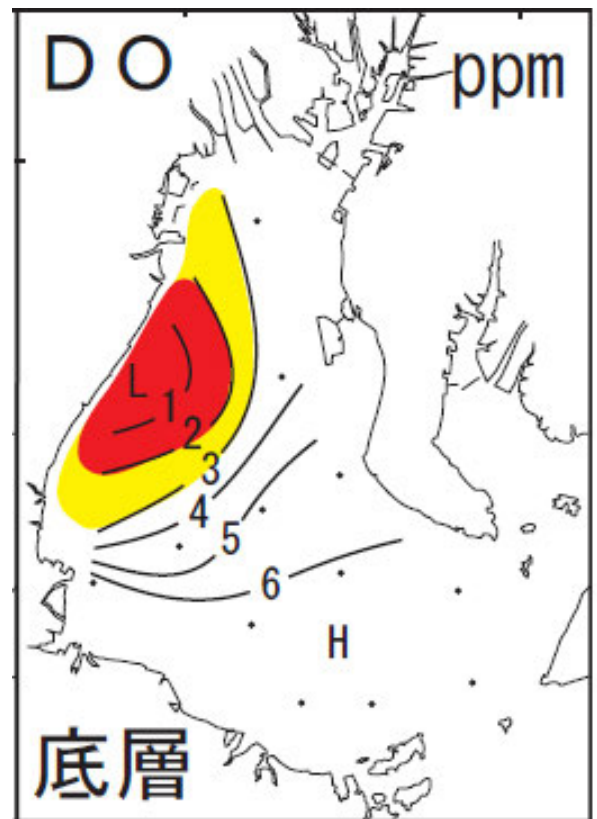
1 1月3日の調査結果

11月3日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 19.4～20.8℃、10mで 19.6～22.3℃、底層で 19.6～22.3℃の範囲にあり、表層は平年よりやや高めから高め、10mと底層では高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 6.0～7.9ppm、10mで 0.6～7.4ppm、底層で 0.6～6.8ppmの範囲にあり、表層、10m、底層とも平年よりやや低めとなっていました。

6月の観測時（6月6日）以来、伊勢湾の底層に広く形成されていた 2ppm以下の貧酸素水塊は、かなり縮小しました。

伊勢湾では、海水の上下混合が起りやすい時期を迎えており、今後、貧酸素状態は解消に向かうものと思われま



底層貧酸素水塊分布図